

積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

～学びのつながりを意識した英語科授業実践～

I 研究の内容

1 研究の目標

学びのつながりを意識した授業実践（主に英語）を行うことで、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成を図る。

《学びのつながり》

- ・ 6年間を見通した学習過程における学びのつながり
- ・ 他教科や行事等との関連による学びのつながり
- ・ 単元構成や授業展開における学びのつながり
- ・ 友達や地域との関わりによる学びのつながり

2 研究の内容・方法

(1) 英語科

- ・ 「スモールステップによる指導」「児童の発達を踏まえた文字指導」を意識した授業改善
- ・ 全国小学校英語教育実践研究大会山梨大会授業校としての授業の公開に向けた取り組み
- ・ 理論研究（山梨大学 田中教授を招いての理論研究）
- ・ 校内公開授業及び講師による指導助言
（文部科学省 直山視学官，信州大学 酒井教授）
- ・ 全国小学校英語教育実践研究大会山梨大会での授業公開
- ・ 英語にふれる環境の整備

(2) その他

- ・ 全国学力学習状況調査等の結果分析
- ・ 家庭学習の充実
家庭学習のふり返り
- ・ 今日的な課題に向けた研修
食物アレルギーに関する研修（保健・給食）
- ・ 教育課程還流報告

3 具体的な取り組み

(1) 研修会

「授業づくりにおいて共通して考えたい6つの研究トピックについて」

山梨大学 田中 武夫教授

(2) 校内授業公開及び指導・助言

指導助言者 文部科学省初等中等教育局 直山 木綿子 視学官
信州大学 酒井 英樹 教授

(3) 全国小学校英語教育実践研究大会山梨大会での授業公開

- ・第2学年 鶴田 望 教諭 「形であそぼう」
- ・第4学年 雨宮恵里子 教諭 “What do you want?”
- ・第6学年 田草川翔太 教諭 “Junior high school life”
- ・第3学年 金子 裕亮 教諭 “What’s this?”
- ・第5学年 雨宮 正倫 教諭 “Who is your hero?”
- ・第4学年 廣瀬 哲也 教諭 “What do you want?”
- ・第6学年 宮澤みさ子 教諭 “Junior high school life”

(4) 家庭学習の取り組み

- ・「家庭学習振り返りの日」に合わせた家庭との連携
- ・学年の実態に応じた「家庭学習ふりかえりカード」による振り返り

II 成果と課題

1 成果

- ・単元のゴールを児童の興味・関心に合わせて設定し、明確にすることで児童が積極的にコミュニケーションを図る姿が見られた。
- ・バックワードデザインによる単元構成や授業の中でのスモールステップ（無理のない一歩・ゆとり）を意識して仕組むことで児童の負担感を軽減させることができた。
- ・相手意識を持ち、その手段として英語を学んだことで、主体的に学ぶ姿や意欲が向上した姿が見られた。
- ・高学年になってからではなく、低学年のうちからスモールステップで文字指導を行うことで、児童の学習内容の習得が確実に効果的なものになることが研究会でも認められ、大きな成果となった。

2 課題

- ・この研究成果を今後の実践に生かすこと、評価の工夫を積み重ねていく必要がある。
- ・他教科と関連づける際に、関連付けた教科それぞれの目標を達成させることがとても難しいので、その点をしっかり検討し関連付けたい。
- ・小中連携に関して、更なる情報の交換、共有の必要性がある。

III 成果物

- 1 全国小学校英語教育実践研究大会山梨大会 指導案
- 2 全国小学校英語教育実践研究大会 研究概要スライド及び掲示物
- 3 家庭学習チェック表（全学年）

（研究主任 小池 美樹）